



な・め・し通信

R7. 5. 25 校長 栗山 幸彦



最後まで楽しんで 最高の運動会に…ないました

運動会を参観いただき、ありがとうございました。いかがだったでしょうか。プログラム1番の応援「心をつに～滑石から元気を～」では、初っぱなから全校児童が一丸となって盛り上がりました。「かけっこ・短距離走」では、出場した全員が、1番になれなくても、諦めずにゴールまで駆け抜けました。1年生の「チェッコリ玉入れ」、2年生の「好きだ。」、3年生の「はい よろこんで」、4年生の「ライラック」、5年生の「ソーラン節」、6年生の「リレー」と、どれも見所満載で、全力で取り組む姿をお見せできたかと思います。「滑石音頭」は2年目を迎え、昨年度よりも振り付けが頭に入っていて、上手になっていました。飛び入りの参加者も増え、来年度はもっと賑やかな滑石音頭になりそうで楽しみです。新種目の「縦割り対抗リレー」は、各学級からの精鋭の疾走に、応援にも力が入りましたね。競技だけでなく、リーダー6年生とアシスト5年生が、係の仕事をしっかりと果たしてくれたことでスムーズな進行ができました。また、保護者の皆様のご協力にも感謝です。朝7時過ぎから、親父の会の皆様がテント設営を手伝ってくださったり、育友会の皆様が会場の見回りや清掃、広報誌の写真撮影などをしてくださったり、閉会後もテント撤去やサッカーゴール設置など、最後まで後片付けをしてくださったりしました。主役である子供たちと、それを支える大人が一つになって作り上げた運動会でした。すばらしい運動会を終え、子供たちに伝えたいことがあります。それは、「運動会が目的なのではなく、運動会への取組を通して**成長することが目的**」だということです。これからの頑張りをしっかりと見ていきたいと思います。

清書（運動会）

六年生のみんなたちが軸になって
ゴミのない体育会を築いたことを
どうか 一生 忘れられるな
だが みんなたちよ
きょうの体育会は立派であったが
きょうは清書ではないんだ
清書は

あすからのみんなのくらしだ
あすからの学校での 勉強
家でのくらしの がんばり
学校での行き帰りの在り方
それが清書になるんだということを
どうか 忘れてくれるな

東井義雄